

日本は プラスチックごみ大国?!



*マイクロプラスチックは直けい5ミ
リ以下のごく小さなプラスチック。自
然には無くならず何十年以上も存在
し続けます。

ふえ続けるプラスチックごみ(プラごみ)が海を漂い、
小さなマイクロプラスチック*になって
自然環境に深刻な影響を与えています。



※写真はイメージです。

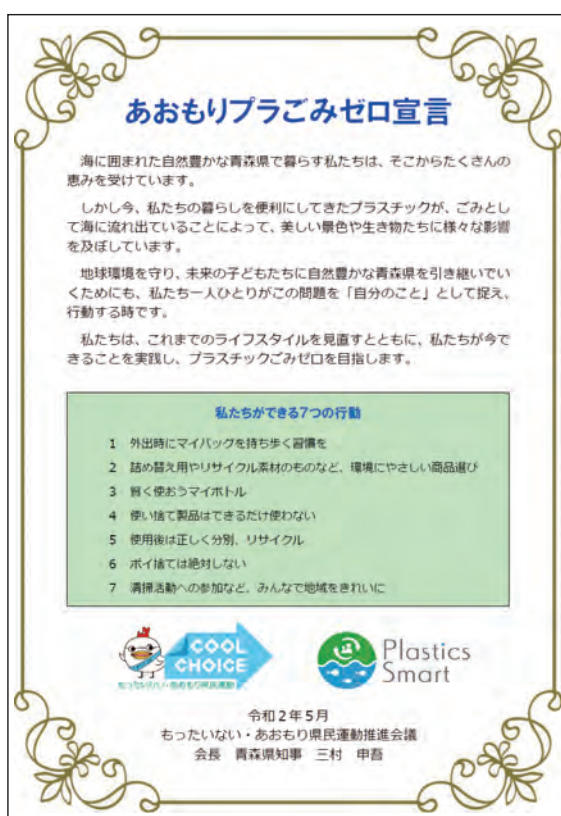
レジ袋が有料になったのは プラごみがふえたから?

ペットボトルや卵
パックなど、軽くて
丈夫なプラスチック
製品は毎日の必需品。
けれども、使い捨てされ
たプラごみが各国で問題
になっています。プラごみ
は自然には分解されず、長
い間存在し続け、太陽の光や波などによって小
さなマイクロプラスチックになり、世界中の海
に広がって地球環境に悪影響を与えているから
です。7月1日からスーパーやコンビニなどの
レジ袋が有料になったのは、ふえ続けるプラご
みをへらすための取り組みのひとつです。



海に囲まれた青森県は どんな取り組みを?

青森県は全国に
先駆けて平成20
年度からレジ袋
の有料化を進
め、令和元年度
までに約11億5
千万枚を削減。
今年5月20日、
「あおもりプラご
みゼロ宣言式」
を行い、「マイバ
ッグを持ち歩く」「ポイ捨ては絶対しない」な
ど、身近な7つの行動から実践し、豊かな自然
を守ろうと県民に呼びかけています。



画像提供 / 青森県

海のプラごみはこのままでは
へらず、2050年には
海の生物より多くなる(※)
とされています。

(※)WWF ジャパンなどの調べによる



家の中のいろんなプラスチック容器を
さがしてみよう。
それらの使い捨てを
へらすために私たちができることは?

<先生方へ>

授業で活用するため、配布用のPDFファイルを用意しました。
下記の「webエネルギーclub」からダウンロードできます。

<http://aomori-energyclub.com/>

web エネルギーclub

検索

<参考資料>

青森県HP、「海のプラスチックごみ調べ大辞典」(保坂直紀著・旬報社刊)、環境省HP、国立研究開発法人 海洋研究開発機構HP、「地球が危ない! プラスチックごみ」シリーズ(幸運社編/汐文社刊)、
東京農工大学 農学部 環境資源科学科HP、マリエント「ちぎゅう」たんけんクラブ・シニアJpGU(日本地球惑星科学連合)2018年大会報告ほか(50音順)

協力: 日本原燃株式会社